

新しい風

平成28年10月13日発行
 発行責任者 小宮國暉
 事務所 羽村市羽東1-2-9
 TEL・FAX:042-554-1555

9月定例議会を終えて〔平成28年第3回〕

- ◆ 議会等の活動報告
- ◆ 一般質問 『市政を問う』
- ◆ 本会議審議事項・補正予算賛成討論要旨
- ◆ 27年度決算概要・賛成討論要旨
- ◆ トピックス・皆さまの声



会等の活動報告

活動日	内容
8月29日	議会運営委員会（9月議会日程、陳情、議案取扱審議）
9月1日	会派新しい風政策研究会、庁内関係部長出席（議案説明、補正予算他）
9月6日～9日	本会議一般質問（小宮初日3人目、高田4人目）、9日議案審議可決
9月13日、15日	13日補正予算審議議決、15日厚生委員会（陳情・審議 継続審査）
9月8日	経済委員会（行政視察 10/24・25 農業委員会との懇談会）
9月20日、21日、23日	平成27年度決算特別委員会（一般会計・特別会計他 審議議決）
9月30日	本会議最終日 28年度追加補正予算、27年度決算認定議案可決

- 北杜市交流議員研修会 7/13、14
- 議会改革推進委員会 7/25、7/28、8/29、9/28
- 広報委員会、7/1、7/7、9/27
- 基地対策特別委員会
- モノレール特別委員会
- 羽村駅西口区画整理事業審議会
- 福生病院組合議会定例会
- 三多摩上下水及びび道路建設促進協議会

教育・福祉・環境分野での活動

- 7月** ◆少年少女球技大会 ◆学校保健会講演会（アレルギー疾患）
 ◆ポイ捨て禁止キャンペーン ◆ラジオ体操会（小作台東・小作台西）
 ◆はむら女性コーラス40周年公演 ◆青少年社会参加実践活動
- 8月** ◆灯籠流し ◆はむら明るい社会づくりを進める会役員会 ◆原爆記念朝起き会
 ◆子ども虐待講演会 ◆西小星空のコンサート ◆観蓮会 ◆70周年朝起き会
- 9月** ◆シルバー人材センターふれあいまつり ◆玉水保育園60周年式典
 ◆献血キャンペーン（小作駅前、羽村ライオンズクラブ）
 ◆家族写真とキャッチコピー展示◆羽老連ペタンク大会
- 10月** ◆1中・2中・3中体育大会 ◆玉水保育園運動会 ◆市民ギャラリー開設記念
 ◆親子工作教室東京土建 ◆稲取体験（各地区委員会）

“新しい風”小宮・高田は
 それぞれ多くの行事へ参加し地域の活
 性化に取り組んでいます



羽村第一中学校運動会

防災・コミュニティ・産業振興分野での活動

- 7月** ◆シニアクラブおざく台西公園清掃◆朝顔・ほおすき市
 ◆羽三協定期総会◆はむら夏祭り◆水源愛護会役員会・説明会
- 8月** ◆青葉会 ◆東京土建フェスティバル ◆28年度水源愛護会役員会
- 9月** ◆羽村市総合防災訓練 ◆玉川水神社例大祭 ◆稻荷神社例大祭
 ◆金刀比羅神社例大祭 ◆はむらふるさと祭り
- 10月** ◆「市民パトロールセンターはむら」5周年記念式典
 ◆全国地域安全運動自動車防犯パレード出発式◆福島県人会いも煮会



はむらふるさと祭り

献血キャンペーン



防災訓練



観蓮会



親子工作教室



～市政を問う～

小宮國暉

1. 羽村市シティプロモーションの実効性を高める着実な取り組みを

要旨 羽村市は「長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画」を策定し、選択と集中の考えのもと、ターゲットを若い世代に絞った地方創生策を進めることで認知度を向上させ定住人口を増加させることとしている。地方創生策を効果的に推進するためには、定住促進、観光振興、魅力発信、市民協働、地域活性化等、それぞれの重要事業の中に手段として、シティプロモーションを取り入れ展開していくことが重要である。

質問 シティプロモーションに取り組んでいる他市の状況は

市長 都市間競争に対応し、自治体が目指す都市の将来像等を達成するための手段・手法として、「定住人口の増加」や「交流人口の増加」、「郷土愛の醸成」等に取り組む施策の中に取り入れて推進されている。平成20年頃から、全国的にも取り組む自治体が増えてきており、栃木県宇都宮市や千葉県流山市、埼玉県戸田市などが、先進的な自治体と言われている。多摩26市の取り組み状況は、八王子市、立川市、町田市、日野市、東村山市、福生市、狛江市の7市で、基本方針等の策定や、担当部署の設置等、推進されている。

質問 羽村市のシティプロモーションについて、基本方針は構築されているか。またその進め方は

市長 人口減少社会において、羽村市が今後も持続的に発展していくためには、市外から人・物・資金・情報等の資源を取り込んでいくことが必要であり、その第一歩として、市外の方に、羽村市を良好なイメージを持って認知していただくことが重要である。

市が進めるシティプロモーションでは、市内外に、市の魅力や良好なイメージを戦略的・継続的に発信していくことで、市民の皆様には、市の魅力の再認識と、我がまち羽村に対する誇りや愛着を育てていただき、市外の方には、羽村市に対する興味や関心を醸成し、「行ってみたい」「住んでみたい」と思ってもらえることを目的としております。これらの取り組みを効果的に推進するには、全庁的に取り組んでいくとともに、市民・団体・事業者の皆様にご協力していただくことが不可欠であります。共通理解を持った取り組みとなるよう、その基本的な考えや方向性を示した基本方針等の策定に向けて取り組んでいる。

平成28年度事業の取り組みについて

質問 「羽村らしさ」を意識した良好な都市イメージを表現にした『羽村市ブランド・キャッチコピー』の構築への方策は。また先行している他の自治体の例は。

市長 市では、「定住人口の増加」に向けた取組として、若い子育て世代の転入を促進することを目的に、暮らしや子育てなどの日常生活の中にある羽村ならではの魅力的で良好なイメージを、暮らしのブランドとして構築するとともに、市外へ発信していくための合い言葉として、市民参加のワークショップを実施するなど、キャッチコピーの策定に取り組んでおります。

9月16日から10月2日にかけて、ゆとろぎで、市内で子育てを楽しむ20組のご家族の協力により、家族写真とキャッチコピーの展示を行い、これらの中から、羽村市ブランドとキャッチコピーを策定していく。

他の自治体のキャッチコピーの例、

- 町田市 「いいことふくらむまちだ」
- 東村山市 「たのしむらやま」
- 流山市 「母になるなら流山」

など、「定住人口の増加」や「交流人口の増加」等を目的としたキャッチコピーが策定されている。



家族写真とキャッチコピー

質問 「羽村市の魅力発信」について、予定されている具体的方策とスケジュールは。

市長 若い子育て中の家族を対象を絞り、市の良好なイメージを発信し、広めていく取組みとして、市の魅力と、市民の皆様の魅力的なライフスタイルを、今月から全6回の連載で子育て情報誌に掲載してまいります。また、インターネットを活用し、若い子育て世代が必要とする情報をワンストップで提供できるよう、スマートフォンやタブレット等にも対応したシティプロモーション専用サイトの構築を進めております。その他、「魅力発信市民記者事業」として、市民の皆様ならではの視点や考えで市内の魅力の取材、記事の執筆、記事の発信を行うことで、市の魅力の再確認につなげていく取組みを進めていく。

質問 フィルムコミッションは、観光振興、魅力発信、認知度の向上に大きな役割をはたすと考えるが、現在の市の取組みはいまだ受動的である。羽村市には「羽村堰」「玉川上水」「玉川兄弟」という大きな観光資源がある。能動的対応として、この貴重な資源をテーマにしたドラマ、映画化を進めてはいかがか。

市長 フィルムコミッションは、知名度の向上、観光振興、地域経済の活性化等につながるため、市の資源を積極的にPRするとともに、制作会社等が行う映画やドラマ、CM等のロケーション撮影が円滑に進むよう支援している。

羽村堰、玉川上水、玉川兄弟は、公式ウェブサイト等を活用し積極的な情報発信に取り組んでおりますが、東京都が管理する施設であり、直接的な活用は、今後、東京都と協議していく。

なお、来る**11月3日**に、羽村市文化祭において、**羽村市文化協会が中心となり市民の皆様の手による玉川上水と玉川兄弟を題材とした創作ファンタジー音楽劇が、生涯学習センターゆとろぎで開催される**、これらの取組みを積極的に支援していく。

2. 「生きがいを持ち安心な生活ができる高齢者のための地域社会を目指して」

要旨 我が国では少子高齢化が顕著になりつつあり、2025年（平成37年）には、65歳以上の高齢者が全国で約3,600万人、人口の約30%に達すると予測されている。一方政府は、全員参加型の社会を築くとして「ニッポン1億総活躍プラン」を本年6月閣議決定し、生涯現役社会の実現をめざし、高齢者の生きがいと社会参加の促進を図り、地域社会の活性化を図ろうとしている。高齢者が生きがいを持って、安心して住み慣れた地域で生活していくためには、健康寿命の延伸と相まって、就労の確保が一層重要になると思われる。また、高齢者の自助とともに、共助や公助が自助を支えるという考え方が必要と考える。このような地域社会の実現を現在最大のテーマとして捉え、以下の質問をする。

質問 シルバー人材センターの受注業務のうち、公的な業務と民間業務の割合は。

市長 平成27年度の契約金額では、公共事業が37.5%民間が62.5%である。

質問 シルバー人材センターでは、社会ニーズに即応し、きめ細かく業務を拡大している。最近取り入れた**派遣業務**について、市はどのように捉えているか。市民への周知を支援すべきと思うがどうか

市長 東京都シルバー人材センター連合が、平成27年10月から派遣事業を開始したことに伴い、羽村市シルバー人材センターでは、**平成29年4月から派遣事業を開始する**。

派遣事業では、発注者からの指示命令を受ける業務等を受注することが可能となるため、従来以上に会員の知識・経験を活かすことができ、就業の幅が広がることを期待できると考えている。

質問 シルバー人材センターの求人の一層の確保等、雇用の促進を確保すべきと思うがどうか

市長 市では、高齢者の就労促進を通じて、社会参加機会の提供や生きがいづくりを進めるため、就労支援の拠点となるシルバー人材センターの運営を支援してきた。今後も、高齢者の就業が可能な業務については、シルバー人材センターへの発注を検討するなど、身近な地域での高齢者の就労を支援していく。



ふれあい祭り

「自助・共助・公助による新たな支え合いのシステムの構築を図るために」

質問 地域包括ケアシステムの構築に向けた具体的な今後の取組みは

市長 市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指している。今後の取組みとして、第6期介護保険事業計画期間中に取り組むこととされている在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進等の事業に取り組みながら、生活支援・介護予防、介護保険サービス等の充実、強化に努めていく。

質問 ひとり暮らし高齢者の増加に伴う見守り支援の今後の方向性は

市長 市では、友愛訪問員による訪問事業、配食サービス、緊急通報システムなどの各種事業、老人クラブ友愛活動の支援、また配達事業者への協力依頼等により、高齢者の見守り支援を進めてきた。この見守り支援の取組みは、**地域包括ケアシステムの一翼を担う重要な取組み**と考えており、地域住民や民間事業者による緩やかな見守り、友愛訪問員、民生・児童委員や老人クラブ等の担当による見守り、また、地域包括支援センター等による専門的な見守りなど、地域の様々な主体が、それぞれの役割分担の下、相互に連携しながら見守り活動を行うことができる体制を推進していく。

～市政を問う～

高田和登

1. 羽村市の水道水と「水はむら」について

要旨 羽村市の水道水は「安くておいしい」と市民から好評である。この評判を活用して、安全性の高い水を提供できる自治体として、子育て世代の移住・定住を促進する立場から質問する。また、水道水のPRのために「水はむら」のさらなる活用について質問する。



質問 羽村市と東京都の下水道料金も含めた水道料金の比較を問う。

市長 一般的な20mmの水道メーターで、羽村市が7,239円、東京23区が9,589円である。

質問 子育て情報誌に掲載予定の羽村市の広告に、羽村市の水道水の「おいしさ」を掲載すべきと考えるが、どうか

市長 今月より全6回にわたり掲載します。

質問 2リットル容器の「水はむら」を検討したらどうか。

市長 2リットル容器については、消費税込みで1本あたり170円の費用を要するため、市販のものとの競合できず、製造を検討に至っておりません。

2. コミュニティバス「はむらん」について

要旨 「はむらん」でICカードが使用可能になり、使い勝手が良くなった。多くの方に利用されているが、認知度は必ずしも高くはない。より多くの市民の利用を促進すべきとの立場から質問する。



質問 運行経費、運賃収入、運行補助金を問う。

市長 平成27年度は、運行経費が7,089万円、収入総額が1,726万円で、運行事業補助金は5,362万円です。(運行補助金は市が全額補填)

質問 コミュニティバスを運行している自治体は多摩26市中いくつあり、最も高い収益率の自治体と収益率を問う。

市長 26市中、23市がコミュニティバスを運行しており、「営業係数」で比較すると、もっとも営業係数が低く、黒字となっている市は町田市で、営業係数は、100円に対し73円です。なお、23市の営業係数の平均は244円で、羽村市はこの係数が23市中19番目の440円です。

質問 「はむらん」の無料乗車券を全世帯に配布し、利用体験を促進すべきと考えるが、いかがか。

市長 コミュニティバス「はむらん」は、高齢者や交通弱者のためのバスとして運行を開始し、平成27年度には乗車人数が18万人を超えております。利用体験を目的とした全世帯への無料乗車券の配布は、現在のところ考えておりませんが、引き続きPRの徹底や市民サービス向上のための方策について検討します。

質問 市民からは増便の要請があるが、市の見解を問う。

市長 これまでも増便について、要望をいただき検討しましたが、バスの増車や運転手の確保、運行経費などの様々な課題もありますので、現行の運行システムの中で、最大限の効果が発揮できるよう、ルート設定などを工夫し対応します。

質問 「はむらん」のダイヤは、例えば、小作駅を 12：33 に駅の西口と東口の両方から同時に出発するダイヤになっているなど改善の余地が大きいが、いかがか。

市長 「はむらん」のダイヤは運営推進懇談会を通じて、利用者等の意見などをもとに、バス事業者である西東京バス株式会社と協議し作成しています。小作駅は本数が少なく、ご指摘がありましたので今後の研究課題とさせていただきます。

質問 市民から「乗継」が不便との声がある。例えば「羽村駅東口」に複数コースのバスが同時に到着し、5分程度の相互乗換時間経過後、同時に発車するダイヤができれば理想と考える。市の見解を問う。

市長 乗り継ぎについては、限られた運行台数の中で、乗り継ぎのタイミングを合わせることが難しい状況ですが、改善に向け検討する。

質問 利用者を増やすことによる運賃収入の増加以外に、収益をあげる別の方法を検討してはいかがか。

市長 「はむらん」は、運賃収入以外に、車内に広告を掲示する広告収入として、3か年平均で、22万3千円の広告収入があります。また、バス停に企業や商店などの名称をつけ、その広告料を収入とする、ネーミングライツについて、その調査・研究を進めている。



3. 羽村市の公式キャラクター「はむりん」について

要旨 羽村市の知名度を向上させるため、「はむりん」は、ゆるキャラグランプリ 2016 に参加している。今年度は昨年度より、大幅に順位を上げるために何をすべきか、という立場から、市の取組みについて質問する。

質問 羽村市の職員は、全員、「1日1票プロジェクト」に参加し、1日に1回、業務の一部として投票すべきと考える。また、スマートフォンや自宅パソコンなどから勤務時間外に投票に協力する雰囲気醸成すべきと考えるが、いかがか。

市長 職員には、日々、投票の呼びかけを行うなど、市を挙げて取り組んでおり、積極的にプロジェクトに参加していると認識している。

質問 10月24日の投票締め切り日まで、「広報はむら」に投票促進記事を掲載し、羽村市民の意識向上を図るべきと考えるが、いかがか。

市長 投票期間が終了するまで、広報はむらや市公式ウェブサイト等を活用し、はむりんへの投票の呼びかけを実施する。

本会議審議：〔9月6日～9月30日〕

区分	委員会	番号	案 件 名	採択・賛否等	
				新しい風	全体
陳情	厚生	4号	羽村市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	採択	継続 審査
		5号	東京都羽村市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	採択	
		6号	羽村市における受動喫煙防止に関する陳情	採択	
市長提出議案	決算	認定 1号～ 7号	平成27年度羽村市一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険事業会計、西口土地区画整理事業会計、下水道事業会計、水道事業会計の決算認定	賛成 討論	可決
		49号	羽村市特別工業地区建築条例の一部を改正する条例	賛成	可決
	50号	羽村市老人福祉館条例を廃止する条例	賛成	可決	
	補正 予算	51号 ～ 56号	平成28年度羽村市一般会計補正予算（第3号）、国民健康保険事業会計（第2号）、後期高齢者医療会計（第1号）、介護保険事業会計（第2号）、西口土地区画整理事業会計（第2号）、下水道事業会計補正予算（第2号）	賛成 討論	可決
		57号	平成27年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	賛成	可決
		58号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	賛成	可決
		59・ 60	教育委員会委員の選任について	賛成	可決
		61号	人権擁護委員候補者の推薦について	賛成	可決
	62号	損害賠償額の決定について	賛成	賛成	

28年度 一般会計補正予算（第3号） 賛成討論要旨

討論 高田和登

今回の一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ9億20万円を追加し、主なるものは羽村駅西口土地区画整理事業に1億6327万円を基金として、区画整理推進のために必要な基金の積立てです。また、「にぎわい音楽祭」などに150万円を追加する補正は、羽村市の産業活性化に貢献する施策であり、騒音問題にも対策を講じております。以上補正に賛成とします。

27年度普通会計決算概要

項目	(金額単位千円)	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歳入総額 (A)		22,816,496	21,928,274	21,473,078
歳出総額 (B)		22,050,856	21,312,909	20,846,934
歳入歳出差引 (A) - (B) = (C)		765,640	615,365	626,144
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)		84,560	27,789	34,441
実質収支 (C) - (D) = (E)		681,080	587,576	591,703
単年度収支 (F)		93,504	△4,127	61,875
財政調整基金積立金 (G)		444,892	432,901	662,460
繰上償還額 (H)		0	0	0
財政調整基金取崩額 (I)		798,731	16,360	451,169
実質単年度収支 (F) + (G) - (I)		△260,335	412,414	273,166

認定1号～7号

平成27年度 羽村市 歳入歳出 決算まとめ					
歳 入			歳 出		
(単位:百万円)					
会計名	収入済額		前年度比較		
	平成26年度	平成27年度	金額	比	
一般会計	市税	11063	10796	-267	98%
	国庫支出金	2992	3463	471	116%
	都支出金	3159	3368	209	107%
	地方消費税交付金	790	1368	578	173%
	繰入金	644	1353	709	210%
	繰越金	582	611	29	105%
	その他	2752	2060	-692	75%
	小計	21982	23019	1,037	105%
特別会計	国民健康保険事業	6838	7718	880	113%
	後期高齢者医療	985	1037	52	105%
	介護保険事業	2885	3024	139	105%
	西口区画整理	302	342	40	113%
	下水道事業	1195	1201	6	101%
	小計	12205	13322	1,117	109%
合計	34187	36341	2,154	106%	

会計名	支出済額		前年度比較		
	平成26年度	平成27年度	金額	比	
一般会計	民生費	10026	10465	439	104%
	総務費	3127	2868	-259	92%
	教育費	2071	2336	265	113%
	土木費	1606	1978	372	123%
	衛生費	2002	1971	-31	98%
	公債費	1122	1085	-37	97%
	その他	1417	1582	165	112%
	小計	21371	22285	914	104%
特別会計	国民健康保険事業	6560	7421	861	113%
	後期高齢者医療	950	1016	66	107%
	介護保険事業	2792	2935	143	105%
	西口区画整理	297	310	13	104%
	下水道事業	1187	1192	5	100%
	小計	11786	12874	1,088	109%
合計	33157	35159	2,002	106%	

平成27年度一般会計決算認定 賛成討論要旨

討論 小宮國暉

決算の状況は歳入総額230億1千9百万程、歳出総額222億8千6百万程であり実質収支額は6億4千8百万程の黒字決算であり、昨年比11.2ポイントの伸びとなっております。主要財政指標をみると、財政基盤の強さや余裕度を示す財政力指数は0.985、単年度1,031、と公債費負担比率も8.0%と過去5年間で最も良好な数値を示し、ており全体的には健全財政の範疇と言える。

歳出面では、特に昨年9月に都内ではいち早く策定した「長期人口ビジョンおよびまち・ひと・しごと創生計画」の実施に向けた各種事業の準備、先取りが、28年度に向けて具体化した形になって効果を生みだしつつあることを大いに評価したい、地球温暖化対策として特にA Z E M Sの稼働は先駆的事业としてマスコミにも取り上げられました。

産業振興分野では、産業福祉センターの活性化を伴った創業支援体制を整え特に立地環境を生かした生涯学習施設東館（図書館）と結びつけた施策については、高く評価出来ます。羽村駅自由通路の拡幅等整備工事の実現に向かって関係者努力により協定締結にこぎつけました。

今後さらなる行財政改革を推進し、社会経済情勢の変化特に地方分権の名の下に押し寄せる業務の多様化や人口減少社会への対応策、国の「地方創生」交付金の活用にもむけて即応できる柔軟性のある行財政運営に向けての努力に期待し、決算の認定に賛成する。

公立福生病院プレスリリース (28年9月13日)

地域包括ケアシステムを推進
支援充実に向けた取り組み



血液透析が一般的ですが、在宅で行う腹膜透析は 患者が住み慣れた地域で、治療が継続できます。 今後、地域で医療や介護を担う、地域包括ケアシステムを推進するものとして、大きな注目を浴びています。患者さんが退院後も安心して在宅治療が続けられるよう、地域の訪問看護ステーションの看護師さんなどを対象にした腹膜透析療法学習会を開催(10月17日)腹膜透析に対応できる地域づくりをめざしています。

○診察の結果、この腹膜透析が選択できた場合は、通院が月に1回程度ですみ、血液透析と比べ、透析導入後も残っている腎機能を長く保つことができる。(現在、26名の方が選択されております。)

問い合わせ先 公立福生病院患者支援センター 042-551-1111 内線 8820

海老名市「食の創造館」視察

羽村・瑞穂地区学校給食組合の一部事務組合議員として、先進事例を視察してきました。海老名市「食の創造館」は平成24年に9月に供用を開始した、最新設備を有する給食センターで、1日に8000食の調理能力があり、海老名市内の主に小学校に配食しています。



学校給食衛生管理は「HACCP」の考え方に基づき、コンテナ消毒庫、準備室のエアシャワーの設備を持ち、ドライシステムを導入するなど、徹底した衛生管理を実施していました。

また、アレルギー食専用の調理室を持ち、の防止を図っています。また、災害時の「炊き出し」を想定した、自家発電設備、都市ガスとLPガスの併用や、省エネのために太陽光発電やLED照明なども実施していて、今後の羽村市の学校給食を考える上で、大いに参考になる施設と感じました。

各種行事への参加報告

パタンク大会



玉水保育園運動会



稲刈り



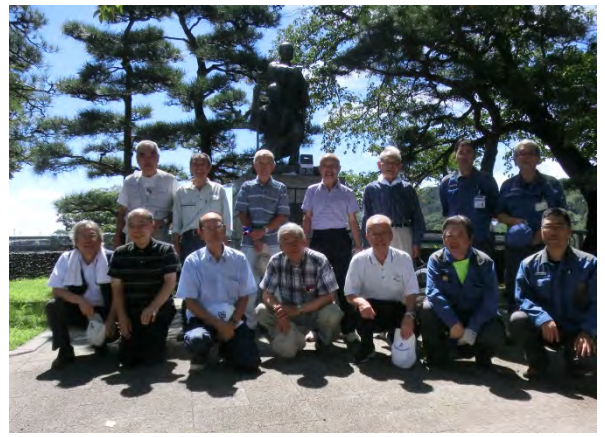
玉水保育園 創立六十周年記念式典の様子



特集 玉川水神社 あれこれ(その2) (注)シリーズで報告いたします。



玉川水神社例大祭 九月五日



玉川兄弟崇敬会 九月五日

皆様の声 ~要望事項が実現しました~

小宮國暉扱い



羽中4丁目9番附近、水上公園の上部石垣部分に灌木が一部密生しその根が石垣を破損する危険あり。除去を要請。



羽中4丁目6番、田ノ上児童遊園の植込みが大きくなり、蚊や蜂の巣等、児童に危険が及ぼす為、剪定、手入れを要請。



羽東1丁目27番
交差点、歩道上の一部凹があり、つまつき転倒の危険指摘。是正措置された。

高田和登扱い



○昨年から要請していたコミュニティセンター2階が市民ギャラリーとして無料で利用できるようになりました。



○昨年から要請し続け、特にこの冬の大雪で落枝があり、強く要望していた「くすのき児童公園」の剪定が実施されました。実施時期については反省しています。



○小作台地区の街路灯はLEDになり、明るくなりましたが、「しらかば児童公園」周辺は樹木のため、効果が半減していました。剪定が実施されました。

“新しい風”を明日のはむらにご意見ご要望お待ちしております

小宮國暉 事務所羽東 1-2-9

電話・FAX：042-554-1555

携帯電話：070-5594-7198

E-mail：k.komiya@t-net.ne.jp

高田和登 事務所小作台3-15-3

電話・FAX：042-555-4700

携帯電話：080-6860-1211

E-mail：takadakazuto@gmail.com